

## 本時の指導

## (1) ねらい

いじめについて、日常起こり得る例を通して、自分の考え方をまとめてみると同時に、仲間の考え方を聞くことで、自他を大切にできる、逆に人を傷つけてしまう、両方の行動や言葉に気づかせる。また、いじめに同調すること傍観すること、この意味を考えることを通して、よい人間関係づくりに取り組む意欲と態度を身につけさせる。

## (2) 指導要領に基づく道徳の内容

2-(2)温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

(3)友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合う。

## (3) 展開

学習活動と主な発問	教師の支援
導入 以下について説明する。(資料1) ① いじめ防止対策推進法の公布について ② 本校のいじめ防止基本方針について	
展開 ① 「どうして・・・」(資料2)を読む。 ② 質問用紙(資料3)に感じたことを記入させる。 ③ いじめの定義(資料1)について、身近な具体例を挙げながら説明する。 ④ いじめの定義を踏まえ、登場人物の何が問題なのか、それぞれの意見についてグループで話し合わせる。 ⑤ グループで話し合った内容を代表が発表する。	教師がゆっくりとはっきりと大きな声で読む。  答えを見つけるのではなく、多くの意見を出させるよう声掛けをする。
まとめ 生徒の発表を用いながら、一人ひとり個性や違いがあること、いじめが絶対許されない行為であること、いじめに同調すること傍観することの意味などを伝える。 次回の予告…違った観点の例を通して、もう少し人間関係づくりを考えてみる。	いじめが絶対許されない行為であることを、毅然とした態度と言葉で生徒に伝える。

## いじめ防止対策推進法の公布

平成25年6月、『いじめ防止対策推進法』が公布されました。学校においては、いじめ防止基本方針又は地域いじめ防止基本方針を参酌し、その学校の実情に応じた同様の基本的な方針の策定を求めています。

本校では、平成26年6月1日付でいじめ防止基本方針を策定しホームページ上で公開しました。

## いじめの定義

「いじめ」とは、「本校に在籍する生徒が、同じく在籍し一定の人間関係のある他の生徒から、心理的、物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）を受けたことにより、同生徒が心身の苦痛を感じているもの」を言い、具体的な態様として次の各号をいいます。

- (1) 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- (2) 仲間外れ、集団による無視をされる。
- (3) 軽くぶつけられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- (4) ひどくぶつけられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- (5) 金品をたかられる。
- (6) 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- (7) 嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- (8) パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- (9) その他、生徒が心身の苦痛を感じる行為。

どうして・・・

A子がそろそろ寝ようかとベッドに横になった時、携帯電話の着信音が鳴った。同じクラスの4人グループの1人、B子からのメールだ。

『きょうの映画は楽しかったね！ところで、明日からC子を見捨てることにしたからね。みんなヨロシク！明日からもっと楽しくなりそう』『えっ!?!』思わず、起き上がった。C子はグループのひとりで、きょうの映画にも一緒に行ってきた。次の日曜日にも遊ぶ約束をしたばかりだったのに・・・。

返信ボタンを押し、『どうして』と打ったところで指が止まった。(理由が何であろうと、B子が言うことには逆らわないほうがいいんじゃないか・・・)

グループでは、あからさまではないが、みんなはB子の機嫌をとっているようなところがある。A子はモヤモヤした気持ちになりながらも、B子からのメールの通りにすることにし、寝ようと目を閉じた。

「おはよう！」

学校の靴箱のところで、肩越しにC子の元気な声が聞こえた。A子は、思わず「おはよう」と言いそうになったが、ハッとしてC子の顔も見ずそのまま早足で教室に向かった。

教室に着くと、B子たちのところへ行った。

そこへC子が「おはよう！」と声をかけてきたが、グループのみんなはそれには答えずおしゃべりを続けた。A子はC子に話しかけられたが、顔を見ないようにしながら、B子の話にあいづちをうっていた。そのうち、うつむいて自分の席に向かうC子の後ろ姿が目に入った。

C子は次の休み時間にもA子に話しかけてきたが、無視すると、昼休みからは話しかけてこなくなった。A子はC子のことが気になりながらも、グループのおしゃべりに夢中になっていた。

二日後の夜、A子が宿題をしようと机に向かっていると、携帯電話にC子からのメールが届いた。一瞬ドキッとした。A子は恐る恐るメールを開くと、そこには「どうして？」と書かれてあった。

A子は、じっと携帯電話の画面を見つめていたが、メールを打ち始めた。

資料3

(資料2) どうして・・・を読んで

登場人物

B子からのメールに対して、なぜA子は『どうして?』と返信しなかったのでしょうか?

A子はC子を無視しているとき、どんな気持ちだったと思いますか?

A子は、誰に、どんな内容のメールを打ち始めたのでしょうか?

いじめをなくすために、自分にできることは何でしょう?

## いじめをなくすために自分にできること(生徒の声)

- ・人の悪いところより良いところを見つけられる努力をする。
- ・いらいらしても関係ない人の前でそれを顔に出さないようにする。
- ・思ったことは素直に伝える。
- ・良いか悪いかを判断でき、はっきり言える勇気がある人になる。
- ・常に思いやりの心を持ち、他人が喜ぶようなことをしようと心がけたい。
- ・人が嫌がることをしている人がいたら、ひと声かけられる人になりたい。
- ・会話の中で、なるべく笑ったりできるように心がける。
- ・みんなのいいところを見つけて発信したい。
- ・ダメなことはダメとはっきり言う。
- ・ひとりでいる人があれば声をかける。
- ・仲の良い子に言われたことでも、ほんとうにそれが正しいか考える。
- ・相手のことが嫌いでも、悪口を言ったりしない。
- ・みんながいじめていてもいっしょにやらない。
- ・いじめを見て見ぬふりをしない。
- ・遊びでも自分がされて嫌なことはしない。
- ・周りでいじめがあったら、仲介役に入って話し合わせたりする。
- ・誰かにちょっかいをかけたり、なかまはずれにしたりせず、誰とでも仲良く接していく。
- ・誰かが言ったからとか、誰かの機嫌をとるためとか、自分の意志じゃなく動かない。
- ・悪口を言われても相手にしない。
- ・心の広い人間になる。
- ・人の意見に惑わされないようにすることも必要。
- ・相手の立場になって、自分がやられて嫌なことは人にやらない。
- ・嫌な人に話しかけられても無視はしない。
- ・問題が起こったとき、嫌がらせやケンカやじゃなくて話し合うようにしたい。
- ・いじめの誘いにはのらない。
- ・おとなに相談する。
- ・自分がやりたくないことは、きちんと断る。
- ・いじめている人に立ち向かう。

### 〈もめた意見〉

- ・やっぱり自分が一番大切だと思ってしまう人が多いと思う。
- ・いじめをなくすのは難しいと思う。
- ・結局は自分のために他人を犠牲にするのが人間だ。
- ・いじめはなくなるらない。
- ・自分にできることはない。